

環境大善&北見工大

高性能の光合成微生物増殖促進剤開発

サポイン事業に採択

見、畜産
廃棄物の
家畜排せ
つ物から
光合成微
生物の生

環境大善(北見市端野町三区4388)と北見工業大学の、ものづくり基盤技術の高度化の取り組みが国の戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)に採択された。

育成を促進する薬剤への、いわゆるアップグレードリサイクルを成し遂げている。

採択事業は、この光合成微生物増殖促進剤の高度化を図る取り組み。生産菌を分離・同定して純粋培養系を用いた低コスト、高性能の増殖促進剤の開発を目指す。

サポイン事業は、中小企業のものづくり基盤技術の向上につながる研究開発、試作品開発から販路拡大までの取り組みを最大3年間支援する事業スキームで、2年度の道内採択先は4事業。

環境大善(株)を研究実施機関に、北見工大を事業管理機関とする採択事業の案件は「光合成微生物増殖促進剤の純粋培養製造技術開発」。

次世代バイオ産業のコア技術として、光合成微生物(微細藻類・シアノバクテリア)の活用が期待されている。北見工大と同社の研究グループは、これまで十分処理されないまま農地に還元されてきた家畜のふん尿に、光合成微生物の増殖を促進する成分が含まれていることを発

見、畜産
廃棄物の
家畜排せ
つ物から
光合成微
生物の生

また、事業管理団体を代表して、北見工大の小西正朗オホーツク農林水産学連携研究推進センター教授は「増殖促進成分の生産方法を効率化することで、バイオ産業全体の効率化やCO₂削減などが期待できる」とコメントしている。

また、事業管理団体を代表して、北見工大の小西正朗オホーツク農林水産学連携研究推進センター教授は「増殖促進成分の生産方法を効率化することで、バイオ産業全体の効率化やCO₂削減などが期待できる」とコメントしている。

□新入社員フォローアップ研修

北見商工会議所。10月21日北見経済センターで開く(9:00~17:30)。受講申込は30日まで受け付ける。

2年度採用社員を対象に、半年間の勤務経験を振り返りながら社会人としての基本ルール体得、スムーズな人間関係の構築、スキルアップをサポートする。

講師は日本ビジネス社の佐々木隆浩社長。研修内容は会社からの期待の再確認、職場のマナーと行動(来客対応、訪問時のマナー、電話対応)、指示の受け方と報・連・相の徹底、受講レポート作成など。

受講料は北商会員5,000円(非会員8,000円)。

□PCR検査講演会

オホーツク地域自治研究所の主催で26日午後2時から北見市民会館で開かれる。参加費300円。

講師は、ドライブスルー方式の北見市PCR検査センターを開設し、運営している北見医師会の吉田茂夫会長(北見赤十字病院名誉院長)。演題は「新型コロナウイルスとPCR検査〜今冬のインフルエンザ流行期に備えて」。

9月16日・23日号は『合併号』とし、1日号は9月30日の発送を予定しております。情報部